

東日本大震災ボランティア活動報告書（#3）

日時：2011年6月14日（火）～6月15日（水）1泊2日

活動地：宮城県石巻市

参加者：HY、GO、AK、TN、HW、RN、KHの7名（内下線メンバー2名がJ-VIPA）

交通：AK所有車、レンタカー

宿泊：石巻市の生活センター内に宿泊

旅程・活動内容：

6月14日（火）：GO、AKはこの日に前乗り。HY、TN、HW、RN、KHは19時半に早稲田大学集合、首都高・東北道・三陸道で翌日2時に石巻市着、生活センターにて宿泊。

6月15日（土）：6時半朝食、7時にNPOミーティング参加、8時半に湊中学校に到着し、炊き出し（HW、RN、KH）と民家の泥だし（HY、GO、AK、TN）の2チームに分かれて活動。午後は、GO、AK、TNは泥だし、HY、HW、RN、KHはイオンへ食糧の買い出し、15時に食糧を生活センターと湊中学校に納品し、16時に湊中学を出発、22時半に高田馬場および所沢で解散。

経費：高速代 12,300円＋ガス代 12,500円／食糧代 39,202円 合計 64,002円（累計175,600円）

※Eatonville 募金から支出

特記事項：

- ・生活センターは、石巻専修大学近くにあり、災害ボランティアを推進するNPOの活動拠点となっている。事前に連絡を入れれば寝袋による宿泊も可能。宿泊費はカンパ制。電気・トイレ・水道・ガスあり。
- ・今回は石巻災害ボランティアセンターに登録しないで活動に参加した。全員、ボランティア保険には個人済。
- ・今回の活動は6/17に早稲田大学とリーガロイヤルホテル東京が共催する炊き出しボランティアの下見と食糧調達を兼ねており、当初は全員で炊き出しに従事する予定であったが、NPOの要請により、4人は泥だし作業に回ることとなった。
- ・石巻市立湊中学校が避難所兼炊き出し場「みなと食堂」になっており、NPOが共同で運営している。
- ・この日の献立は豚肉・ごぼう・こんにゃくの煮物、ご飯、粕汁、デザートにスイカを提供した。約150人分の食事を提供。
- ・泥だしチームは、湊中学校近隣のSさん宅で、部屋の泥を出す作業に従事。午後に、家主が長らく探していた位牌が見つかり、とても感謝される。

- ・ 午後に食糧の買い出しに市内のイオンに向かうが大渋滞で時間がかかる。購入したものは、牛肉 30kg、突きこんにゃく 40P、七味唐辛子 4本、みりん 3本、紅しょうが 30P、万能こしミニお玉付 1本。以上が 2 日間に炊き出しで作る牛丼 300 人分の食材である。生活センターに牛肉 30kg を冷蔵し、他の食材は湊中学校に搬入する。
- ・ 今回のメンバーは早稲田大学職員 3 名、早稲田大学出身 OB・OG 4 人という構成であった。主婦経験者による炊き出しボランティアの可能性が開けたことは収穫であった。また、早稲田大学教職員が寄付をしてくれたお金でスイカ 10 玉を購入し、東京から運びこみ、大好評であった。

以上

## PHOTOS



みなと食堂



炊出し 1



炊出し 2



メニュー



泥だし1



泥だし2



泥だし3



泥だし4